

報道関係者各位

2024年6月21日

東急ホテルズ&リゾート株式会社

**16年目を迎えた、第30回「東急ホテルズ・グリーンコインの森」ボランティア活動を実施
お客さまや地域の皆さまとともに、環境保全への取り組みを進めています**

東急ホテルズ&リゾート株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長 村井 淳）は、2024年6月15日、従業員による“森づくり”の取り組み、「東急ホテルズ・グリーンコインの森」ボランティア活動を、山梨県北都留郡丹波山村にて実施しました。本活動は2008年の開始より継続的に実施し、今回で30回目となりました。



当社は2001年より、お客さまがホテルご宿泊時に使用されなかったアメニティに応じて寄付を行う環境保全活動「グリーンコイン」制度を実施しており、公益財団法人オイスカ（東京都杉並区、理事長 中野 悦子、以下「オイスカ」）を通じて、山梨県丹波山村にある「東急ホテルズ・グリーンコインの森」の森づくり活動を支援してきました。本ボランティアは、その「グリーンコインの森」において、落葉広葉樹を中心とした樹木を植林・育成することにより水源涵養（かんよう）機能の高い森、自然豊かで人々が楽しめる森をつくることを目的に、2008年より開始した従業員による取り組みです。これまでに延べ約900人の従業員が参加し、直近10年間では約12ヘクタールの森を整備。当該区画におけるCO2吸収は山梨県の算定で80トンを超えています。



ボランティア当日は社長の村井を筆頭に、本社や首都圏のホテルで勤務する役員から新入社員まで年齢・性別を問わず、総勢47名が参加しました。今回の主な作業内容は森林育成のための「除伐」と「林道整備」。除伐は森が

荒れないように不要な低木等を伐採する作業、林道整備は枯葉や雑草で見えづらくなった林道を文字通り整備することです。16 年前に植林作業からスタートした本ボランティアも、森林整備や森林資源の活用へと徐々に活動の範囲を広げています。

当社は、丹波山村における継続的な整備活動と、当該活動地を森林環境教育・啓発活動の拠点とした当事者間での交流促進を目的に、オイスカおよび丹波山村と協定書を締結しています。本年 3 月には新たに第 4 期となる協定を結び、2029 年 3 月までの活動継続を決定しました。今後とも新たに生まれる課題と常に向き合い、継続的に環境保全活動を実施してまいります。

■今回ボランティア活動に同行して下さったオイスカ・山梨県支部事務局次長の菅原氏より参加者へのメッセージ

日本の森には過去に先人たちが苦勞して植え、使えるはずの木がたくさんあるのに、様々な事情で使われないことが多いのが現状です。森林整備にお金がかけれない現状から山に木が放置されて、管理ができない。その結果、水害が起きやすくなったり CO2 吸収が少なくなったりと、森が育たないことで弊害が起きます。植林で木を増やすだけではなく、管理する・使うことを進めていくのもグリーンコイン活動の大切なテーマです。森の恵みをしっかり使いながら、森づくりのサイクルを一緒に回していきましょう。

■グリーンコインの取り組みについて

東急ホテルズ&リゾートでは、2001 年より、運営するホテルにて環境保全活動「**グリーンコイン**」制度を実施しております。「グリーンコイン」制度とは、お客さまがご宿泊時に歯ブラシやカミソリなどのアメニティをご使用にならなかった場合、備え付けのグリーンコインをフロントにお持ちいただき、環境保全活動の基金とするものです。その他、連泊されるお客さまがシーツやタオルなどのリネン類の交換をしないことにご理解・ご協力をいただいた場合、リネン費の一部を基金とする「**グリーンカード**」制度、またお部屋の清掃、リネン類の交換を 3 日ごととし、清掃に使われる資源の削減を目指す「**Earth Friendly Stay**」では、清掃、リネン費の一部を同様の基金としております。これらの基金はすべてオイスカを通じて、丹波山村にある「東急ホテルズ・グリーンコインの森」の森づくり活動、および「子供の森」計画へ寄付しております(※)。

※ 「グリーンコイン」制度・「グリーンカード」制度・「Earth Friendly Stay」については下記よりご参照ください。

<https://www.tokyuhotels.co.jp/guide/greencoin/index.html>

「子供の森」計画については下記よりご参照ください。(オイスカ公式ウェブサイト)

<https://oisca.org/projects/cfp/>



■東急ホテルズ&リゾートによる“森づくり”ボランティア活動について

	民有地を含む人工林の整備 (奥秋民有地・小峰山民有地、船久保)	東急ホテルズグリーンコインの森の整備 (高尾天平村有林)
目的	○温暖化対策 (CO2 の削減) ○水源林の保全 ○防災対策	○植林、育林活動 ○温暖化対策 (CO2 の削減) ○人が活用し、人が集う里山の創生
第 1 期 '08 年～		山桜植栽 (1,500 本) 除草、ツル切り作業
第 2 期 '14 年～	(間伐や枝打ちを地元林業者へ依頼)	山桜中苗植栽 (100 本)、 林道確保のための土留め設置
第 3 期	作業道敷設、間伐、枝打ち、土留を実施	植樹した苗の管理、林道整備
'19 年	船久保地区 間伐 1.73 ha 木柵設置 (190m)	林道補修、植樹ネット補修
'20 年	船久保地区 間伐・枝打ち 2.12 ha	植栽地までの登山道整備
'21 年	船久保地区 間伐 1.42 ha 木柵設置 (105m)	苗木の補修
'22 年	船久保地区 間伐・枝打ち 1.61 ha	歩道柵・土留柵の整備
'23 年	船久保地区 間伐・枝打ち 1.58 ha	日照条件の向上を目的とした支障木の伐採
第 4 期 '24 年～	○間伐、枝打ち、木柵設置作業 ○間伐材を搬出して森林資源の循環利用	○植栽木のメンテナンス ○カエデ、ミズナラ等広葉樹の補植 ○歩道の整備

【東急ホテルズ&リゾート株式会社 概要】

所在地：東京都渋谷区道玄坂 1-10-7 五島育英会ビル 3 階

代表者：代表取締役社長 村井 淳

事業内容：ホテル・レストラン・会員制リゾートの運営

■全国に広がる「東急ホテルズ」のネットワーク (<https://www.tokyuhotels.co.jp>)

ザ・キャピトルホテル 東急と、東急ホテル・東急リゾートホテル・エクセルホテル東急・東急 REI ホテルの各ブランドが属する「東急ブランドホテル」に加え、BELLUSTAR TOKYO、HOTEL GROOVE SHINJUKU、STREAM HOTEL、ホテルコンドミニアムの STORYLINE 等、独自の個性を有するホテルで構成する「DISTINCTIVE SELECTION」、「会員制滞在型リゾート」の東急パッケージズを全国に展開 (国内 62 店舗／ほか国内 6 店舗、海外 3 店舗の「パートナーホテル」)

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

東急ホテルズ&リゾート株式会社 広報・デジタルコミュニケーショングループ
高田、古市 電話：03-3477-6566